

ホームページが開設しました



「ホームページを開設しよう!」、それは、会員の募集について意見交換がなされていた理事会の席上、突然提案されました。

「金堂まちなみ保存会」が未永く発展していく為には、五個荘金堂町内だけでなく、一般の方々や識者の幅広い意見を取り入れながら、事業を運営していくのが最良と判断したのです。

そこで、私達は保存会についての案内、活動内容、スケジュール等を詳細に掲載したホームページを作成し、保存会について理解を深めていた

だき、我々の活動に共感してくださる方を募りたいと考えました。

ホームページ作りは、年三回の広報発行を主な仕事として、いる普及啓発委員会の中で取り組むことになりました。しかしながら、同じ広報でもホームページ作成となると話が違います。必要な条件を満たしたホームページは素人では作成するのが困難です。



そこで、専門の業者に作成をお願いしました。さすがにプロです。ページ構成の概略を打合せただけで、「特定非営利活動法人金堂まちなみ保存会」の立派なホームページが出来上がりました。皆さんも一度見てください。そして「金堂まちなみ保存会」をより良くするために、皆様の貴重な意見をお寄せ下さい。(城 誠人)

「金堂まちなみ保存会」ホームページアドレス
<http://www.kondo-machinami.net>

近江歴史回廊大学 公開講座の報告

近江歴史回廊大学公開講座が、十一月三日に滋賀会館大ホールにて開催されました。「金堂まちなみ保存会」からは西村 實理事長が参加し、受講生百余名の前で当保存会の活動報告を行いました。

初の試みでしたが、「歴史の息吹くまち「金堂」」における私達の情熱的な活動内容を、パワーポイントを用い、熱い思いを持って語られました。受講生の皆さんも熱心に耳を傾け、一所懸命メモを取ってくださいました。私は熱心な受講生の姿を見て、このような機会に恵まれたことを喜んでおりました。

初めの試みでしたが、「歴史の息吹くまち「金堂」」における私達の情熱的な活動内容を、パワーポイントを用い、熱い思いを持って語られました。受講生の皆さんも熱心に耳を傾け、一所懸命メモを取ってくださいました。私は熱心な受講生の姿を見て、このような機会に恵まれたことを喜んでおりました。

んでおりません。時の流れは止まりません。そして、時の流れとともに人の心が変化したとき、まちなみは変貌してしまいます。金堂の美しいまちなみをいつまでも継承していくためには、私達ひとりひとりが金堂の素晴らしさを理解し、このまちなみを残そうと思いつけることが大切です。公開講座を聞きながら、金堂のまちなみへの想いを再認識しました。(小杉 富男)



会員さん こんにちわ

ここは会員の方に抱負を語っていただくコーナーです。第2回は外与社長、市田 椰良生さんです!

NPO法人設立に思う

外与 椰良生 外村 正弘

ここ数年、「五個荘の金堂に行って来たよ」と声を掛けられることが多くなった。

主に五十歳代以上の都会に住む方々である。たぶん戦後の昭和二十年代に自分たちが過ごした田舎の美しい原風景が金堂にはきちんと残っており、なおかつ、そこに暮らす人々がいることに感動されるのだと思う。

近年のわが国は、国際的な市場経済化や、ITの発達による物事のスピードアップ等で、日常の生活実感が非常にギスギスしたものになっている。それだけに、人々の自然への回帰やスローライフへの欲求はますます増加している。今般、伝建地区の指定に加え、金堂まちなみ保存会のNPO法人が認可されたことは大変喜ばしいことである。

この事業を推進していくには大変な努力がいることと思う。しかし是非、「日本に五個荘金堂があってよかった」との気概を持ち頑張つて欲しい。私も屋敷を所有するものと

して、景観の維持に協力するとともに、一人でも多くの金堂ファンを作ることに協力したい。



十三年目を迎えて

市田 椰良生

平成七年の「ぶらりましかど美術館 博物館」で天保川に花を生けてより、十三年が経ちました。

参加を始めたのは、旧五個荘町の教育委員会よりご依頼を頂いたのがきっかけでした。当初より、建物の中では多

くの方に見ていただけない、また私の好きどころに生きたいとの想いで、天保川に生け続けてきました。

今まで続けることが出来たのは、「今年はどうな花が生けてあるの? 毎年楽しみやわあ」という皆様の暖かい声援のおかげです。

今年も台風の心配や、ライトアップ時に大雨が降る等、色々な事がありました。中でも気になったのは、鯉が減っていることです。

以前は、花を生けていると鯉が足元に寄ってきたり、すぐそばで跳ねたりする光景を見ることが出来ました。しかし近年、病気に罹り減りました。そのような体験も減りました。鯉養殖により、鯉は少しずつ増えてきていますが、それでも以前ほどではありません。

鮮やかな鯉が泳ぐ天保川に、一日も早く戻ってほしい気持ち一杯です。



日々の河川の清掃、鯉の管理等を行うことは、大変なご苦労と思います。さらに、地域を受け継ぎ、守ることは、難しいことと思います。

昔から、川には水神さんがいらつしやう、きれいな川が流れていると地域がまとまると言います。

金堂まちなみ保存会の皆さんの活動が実を結び、五個荘金堂町の方々が、ここに住んでいてよかったと思える地域になって欲しいと願います。